

科目名	比較企業形態論	科目コード	1408	単位数	2
担当者名	伊藤 昭男	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次

● 授業のねらい

中国企業を理解するには中国経済の要である国有企業を理解しなければならない。本講義では中国経済の100年の歩みを理解した上で、中国的特色を有する国有企業を学習する。それを通じて、中国経済の現状・課題・特徴を自ら発見する能力を身につけることがねらいである。

● 到達目標

中国経済の特徴を理解すること、また中国の国有企業をその特色（欧米、日本との違い）を通じて理解することが目標である。このことを通じて、国際ビジネスが多様な価値観において形成されていることを理解することもまた目標である。

● 授業内容

- 1週目 講義の方針、中国理解の難しさ、中国はいかにユニークか、複眼で中国を見る
- 2週目 工業化の20世紀、前近代の市場経済、中国経済トピックス
- 3週目 変貌する国民経済、中国経済トピックス
- 4週目 中華人民共和国の70年、中国経済トピックス
- 5週目 社会主義から資本主義への移行、中国型資本主義の4つの特徴、中国経済トピックス
- 6週目 新たな成長パターンの模索、中国経済トピックス、理解度確認テスト
- 7週目 社会主義計画経済システムの確立に伴う国有企業体制の創出、非国有企業の生成、中国経済トピックス
- 8週目 国有企業改革の帰結、中央国有企業紹介
- 9週目 三者鼎立の企業構造、中央国有企業紹介
- 10週目 今後の行方、中央国有企業紹介、理解度確認テスト
- 11週目 国有企業改革のこれまで、中国は「国家資本主義」か、中央国有企業紹介、中国経済トピックス
- 12週目 「国進民退は本当に生じているか、相対的な高賃金、中央国有企業紹介、中国経済トピックス
- 13週目 格差の固定化、極端な分業体制が生む活力、中央国有企業紹介、中国経済トピックス
- 14週目 企業間の適切な資源配分は可能か、ゾンビ企業とは何か、中央国有企業紹介、理解度確認テスト
- 15週目 「失われた20年」に学ぶ、国有企業の「退場」はスムーズに実現するか、中央国有企業紹介、中国経済トピックス
- 16週目 理解度確認テストに対するフィードバック（講評等）を実施する。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講を行う。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

週3時間の予習・復習を行うこと。特にテキストは講義に対応して事前に読んでおくこと。また、重要ポイントの確認および理解が不十分であった点については復習して十分な理解に努めること。

● 成績評価の方法・基準

理解度確認テスト（3回を予定）で評価する。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

- ・成績の評価は11週以上授業に出席した学生を対象とする。
- ・遅刻は原則として欠席扱いとする。
- ・理解度確認テストについては結果の講評と解説を実施する。

● テキスト

梶谷懐・藤井大輔（編著）『現代中国経済論（第2版）』（ミネルヴァ書房）3200円
 （本テキストは「特殊講義（中国社会経済文化論）」と同じテキストを使用します）

● 参考書

梶谷懐『中国経済講義』（中公新書、2018年）880円

● 更新日付

2019/02/27 03:46